

ヤマウホールディングス株式会社

2027年3月期 中間決算説明資料

2026年11月6日



ヤマウホールディングスのパーパス（存在意義）

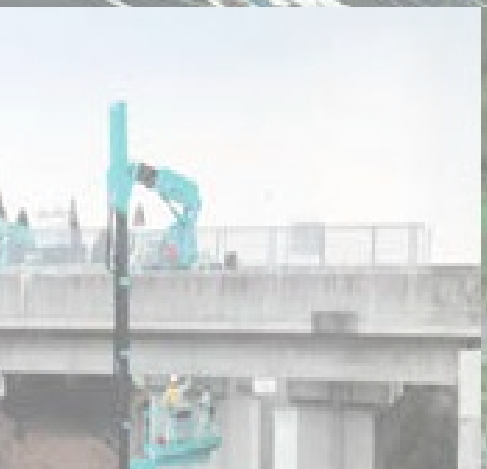
インフラ整備の総合ソリューションパートナー として、
サステナブルで安心・安全な社会の実現に貢献する











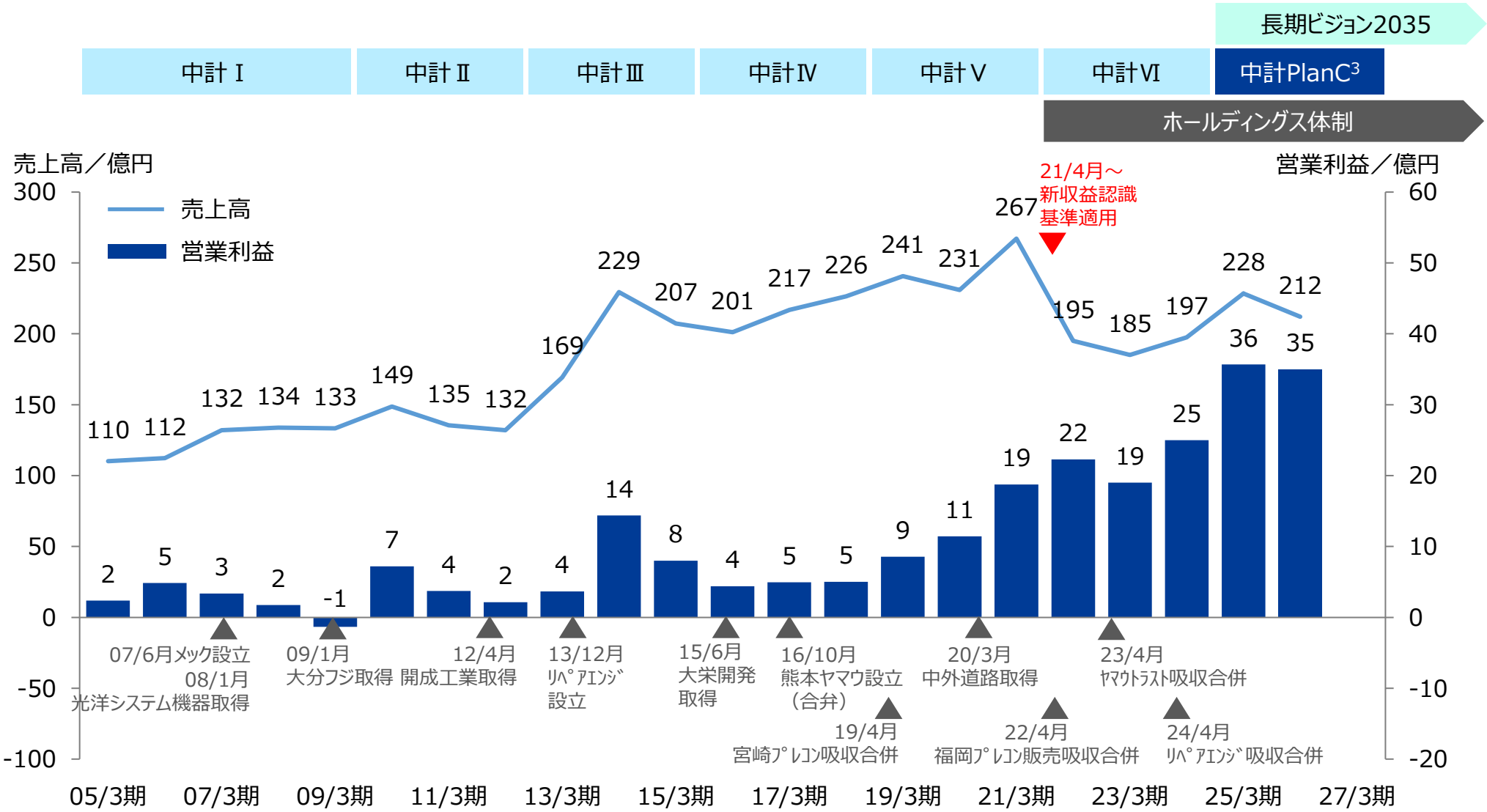


１．中間決算概要

２．中期経営計画の進捗状況

連結業績（通期）の長期推移

- 当社の連結業績は、M&Aによる事業領域の拡大と相次ぐ災害による復興・復旧特需等を背景に、成長を遂げて参りました。
- 近年は、インフラ整備工事への対応や、高騰する原材料費の販売価格への転嫁に注力し、収益を確保しております。



連結業績サマリー

➢ 2027年3月期中間期の業績は、売上高8,530百万円（前年同期比▲2.2%）、営業利益753百万円（前年同期比▲17.1%）の**減収減益**となりました。

売上高：減収

8,530百万円

対前年同期比実績：▲2.2%

減収額：▲187百万円

営業利益：減益

753百万円

対前年同期比実績：▲17.1%

減益額：▲155百万円

親会社に帰属する中間純利益：減益

506百万円

対前年同期比実績：▲17.9%

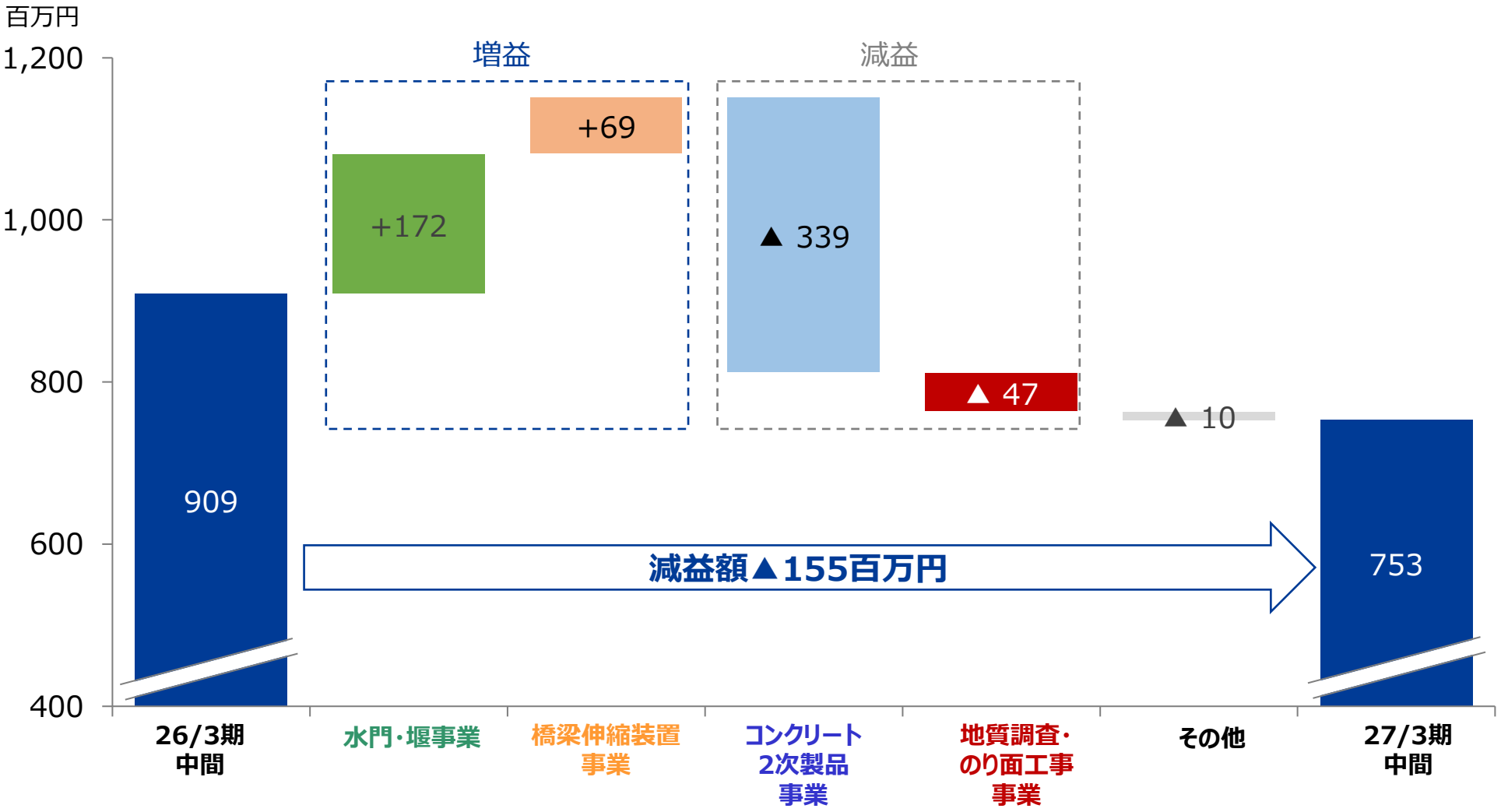
減益額：▲110百万円

業績概要

百万円	26/3期 中間決算	27/3期 中間決算	増減額	増減率
売上高	8,718	8,530	▲ 187	▲ 2.2%
売上原価	5,302	5,295	▲ 6	▲ 0.1%
売上総利益	3,416	3,234	▲ 181	▲ 5.3%
売上総利益率	39.2%	37.9%		▲ 1.3ppt
販売費及び一般管理費	2,506	2,480	▲ 25	▲ 1.0%
営業利益	909	753	▲ 155	▲ 17.1%
営業利益率	10.4%	8.8%		▲ 1.6ppt
親会社に帰属する中間純利益	617	506	▲ 110	▲ 17.9%

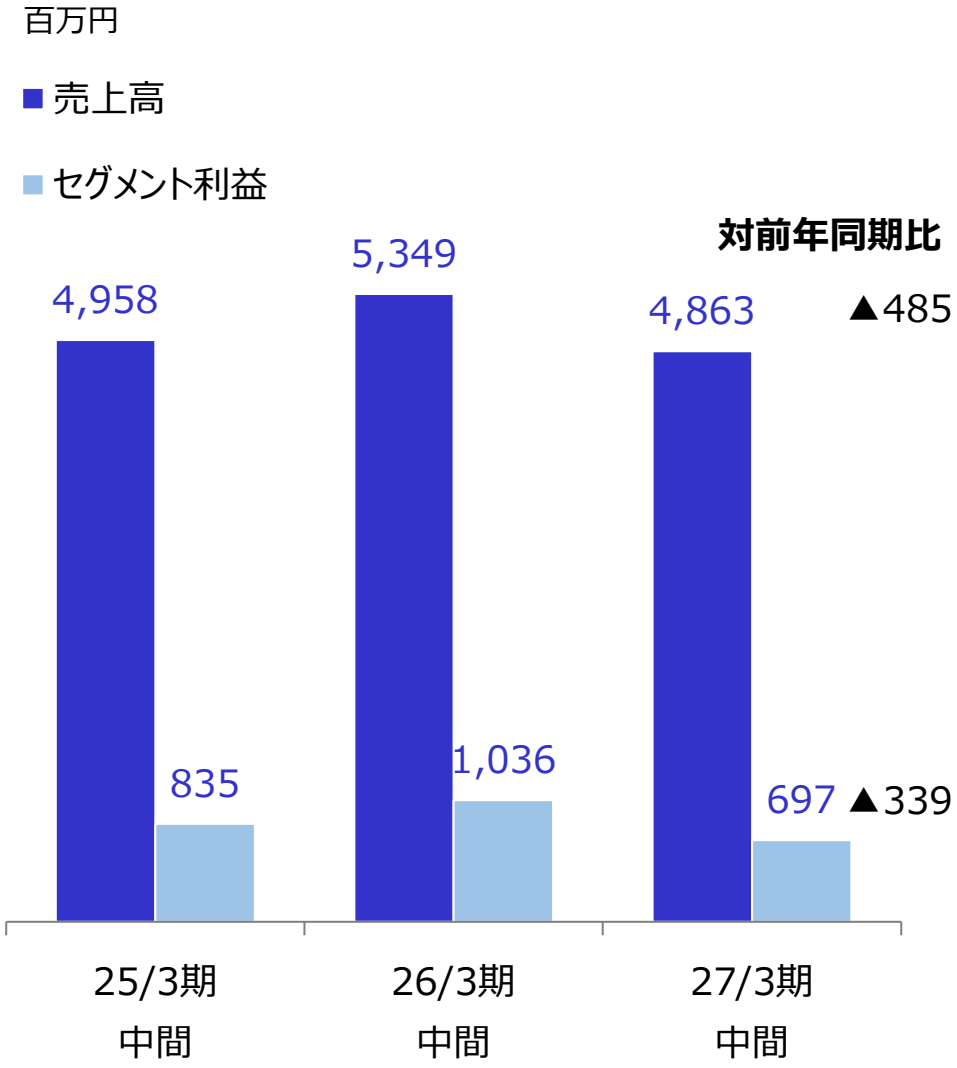
連結営業利益増減要因（セグメント利益）

➢ セグメント利益は、**水門・堰事業**、**橋梁伸縮装置事業**で増益でしたが、**コンクリート2次製品事業**、**地質調査・のり面工事事業**で減益となり、連結営業利益は**▲155百万円の減益**となりました。



コンクリート2次製品事業の業績

➢ コンクリート2次製品事業は、売上高4,863百万円（前年同期比▲485百万円）、セグメント利益697百万円（前年同期比▲339百万円）の減収減益となりました。



■ 増減要因

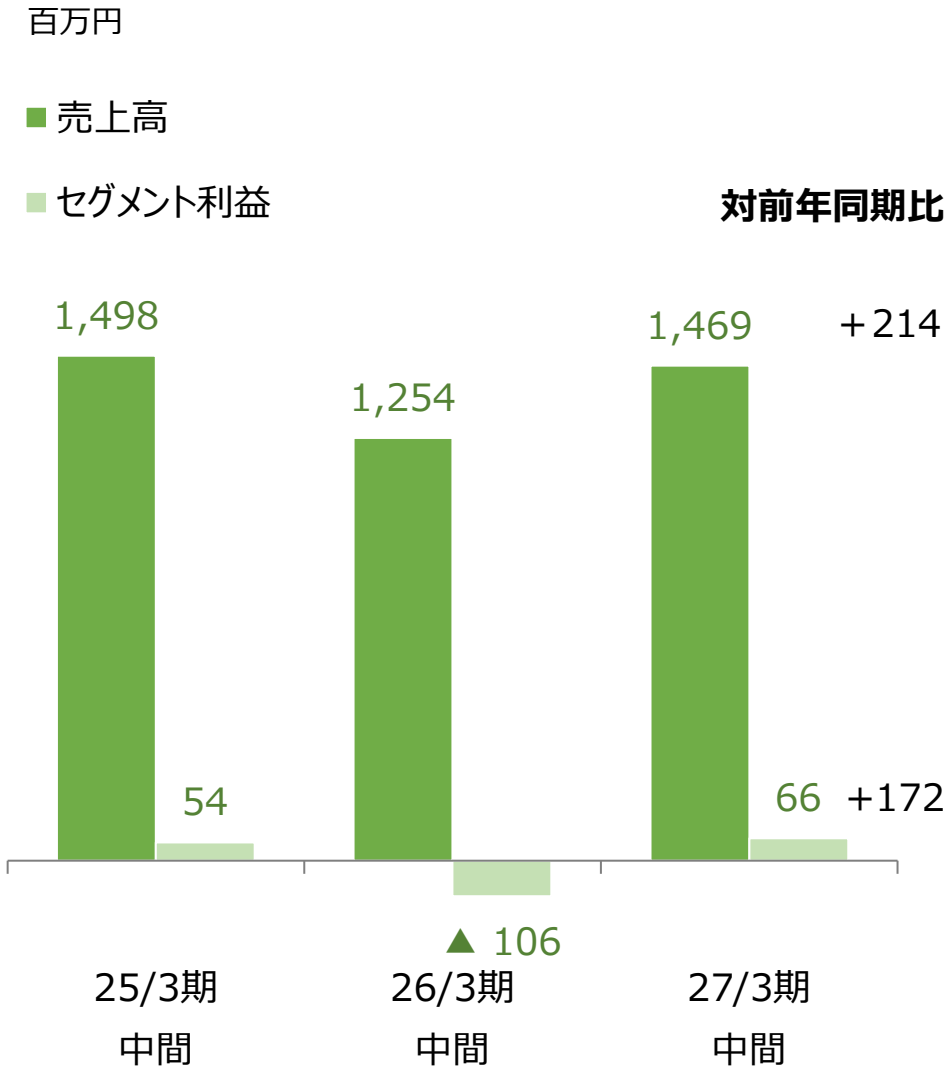
- 売上高は防災及び道路インフラ工事への大型案件の製品出荷が完了したこと等により大口案件の製品出荷量が減少し前期比減収となりました。
- 利益面は資材、原材料費及び運賃価格が継続して上昇しており、販売価格への価格転嫁及び製品原価低減、一般管理費の削減に引き続き努めてまいります。



函渠工事（ FAボックス）

水門・堰事業の業績

➢ 水門・堰事業は、売上高1,469百万円（前年同期比＋214百万円）、セグメント利益66百万円（前年同期比+172百万円）の増収増益となりました。



■ 増減要因

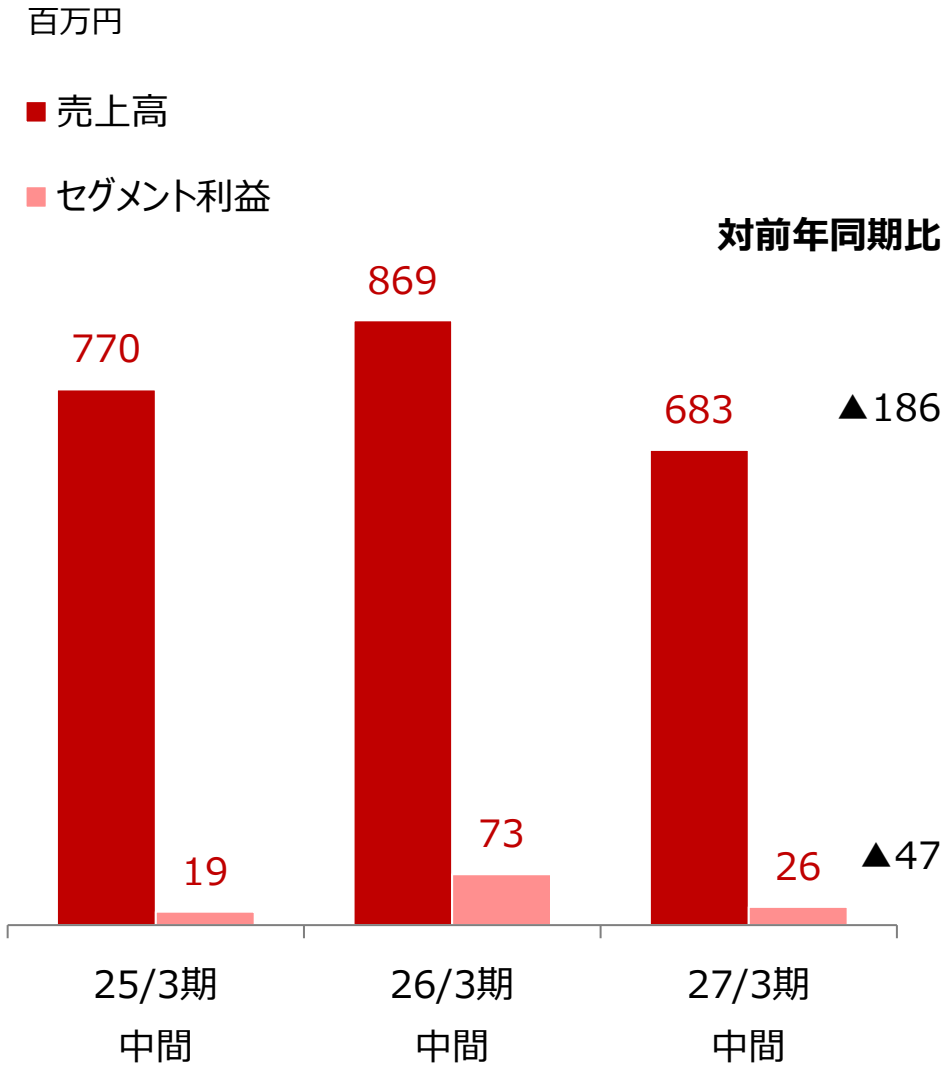
- 2026年3月末の繰越受注残高は前年度末比減少致しましたが、大型案件の受注件数増加及び自社製作の割合が増加したことで外注費が減少し、工事進行基準の適用により増収増益となりました。
- 当期（2026年4月～9月）の受注残高は前期（2025年4月～9月）対比で微増にて推移しております。



除塵機

地質調査・のり面工事事業の業績

➢ 地質調査・のり面工事事業は、売上高683百万円（前年同期比▲186百万円）、セグメント利益26百万円（前年同期比▲47百万円）の減収減益となりました。



■ 増減要因

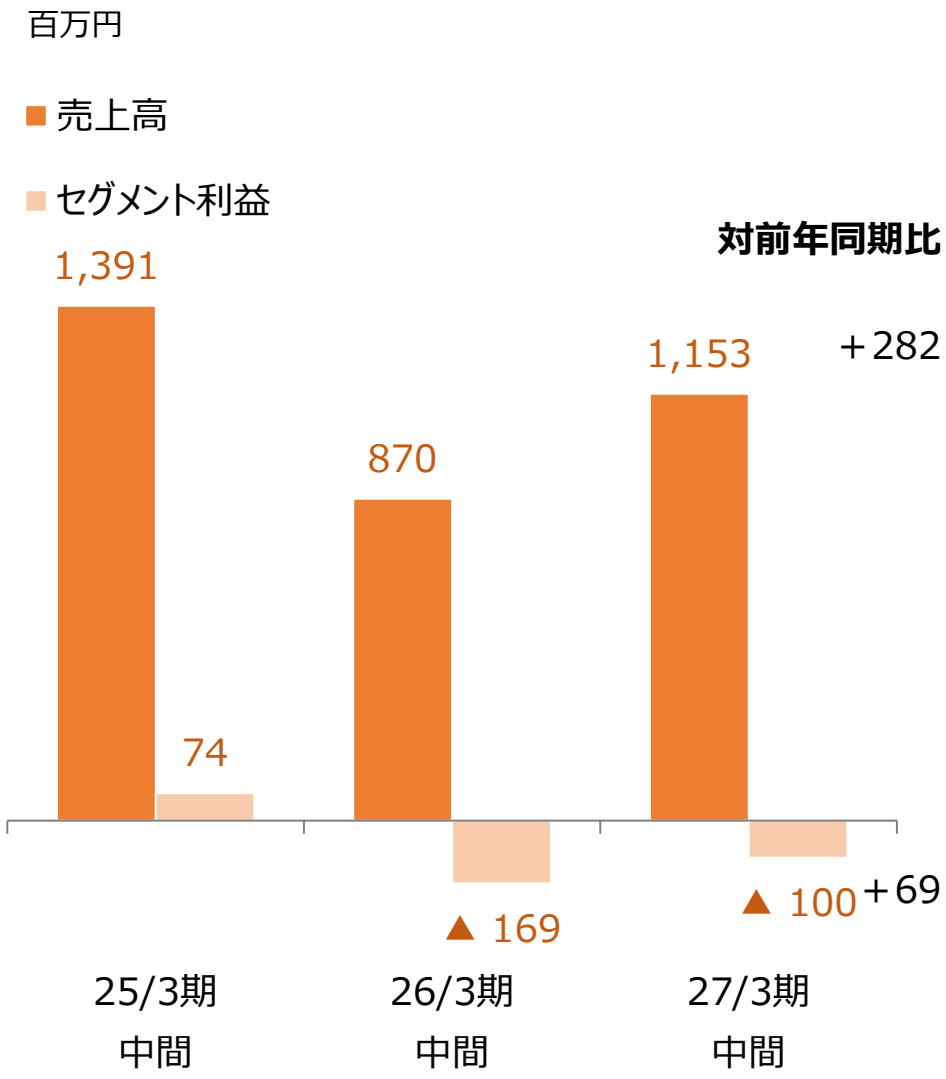
- 2026年3月末の繰越受注残高が前年度末対比減少したこと等により減収減益となりました。
- 当期（2026年4月～9月）の受注残高は前期（2025年4月～9月）対比で微増にて推移しております。



斜面対策工事（アンカー工）

橋梁伸縮装置事業の業績

➢ 橋梁伸縮装置事業は、売上高1,153百万円（前年同期比＋282百万円）、のれん81百万円償却後のセグメント利益は▲100百万円（前年同期比＋69百万円）の増収増益となりました。



■ 増減要因

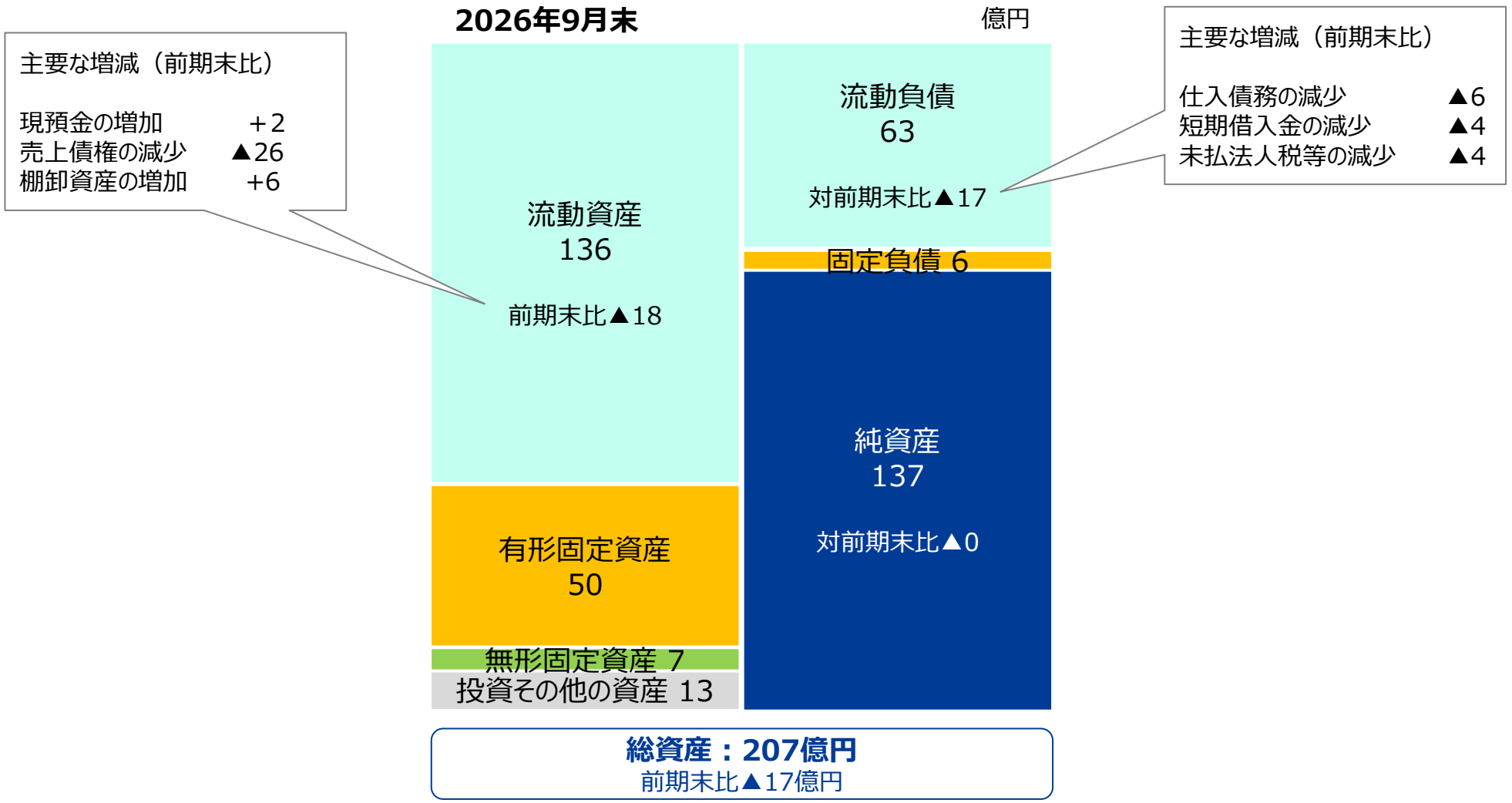
- 2026年3月期は、大阪・関西万博の開催により道路交通規制が制限されたため、発注量が大幅に減少致しましたが、当期の発注量は回復基調にあります。
- 売上高は、2025年3月期（中間）の約8割まで戻りましたが、前年度の発注減による価格競争、資材の高騰等によりセグメント利益は▲100百万円となりました。



道路補修工事（ダブルフィンガースーパージョイント）

連結貸借対照表

- 貸借対照表の総資産は、2026年3月末と比較し▲17億円減少しています。
- 資産サイドでは売上債権等の流動資産、負債・純資産サイドでは仕入債務等の流動負債の減少幅が大きくなっています。



連結キャッシュフロー計算書

- 2027年3月期は、半期で営業キャッシュフロー1,864百万円を獲得しました。
- 獲得した現預金を投資キャッシュフローとして370百万円、財務キャッシュフローとして1,153百万円支出、中間期末現預金残高は339百万円増加しました。

27/3期中間期（2026年4月～2026年9月）

百万円

営業CF ＋1,864

税金等調整前中間純利益	＋807
減価償却費	＋346
売上債権の減少額	＋2,662
たな卸資産の増加額	▲628
仕入債務減少額	▲689
法人税等の支払額	▲781
その他	＋146

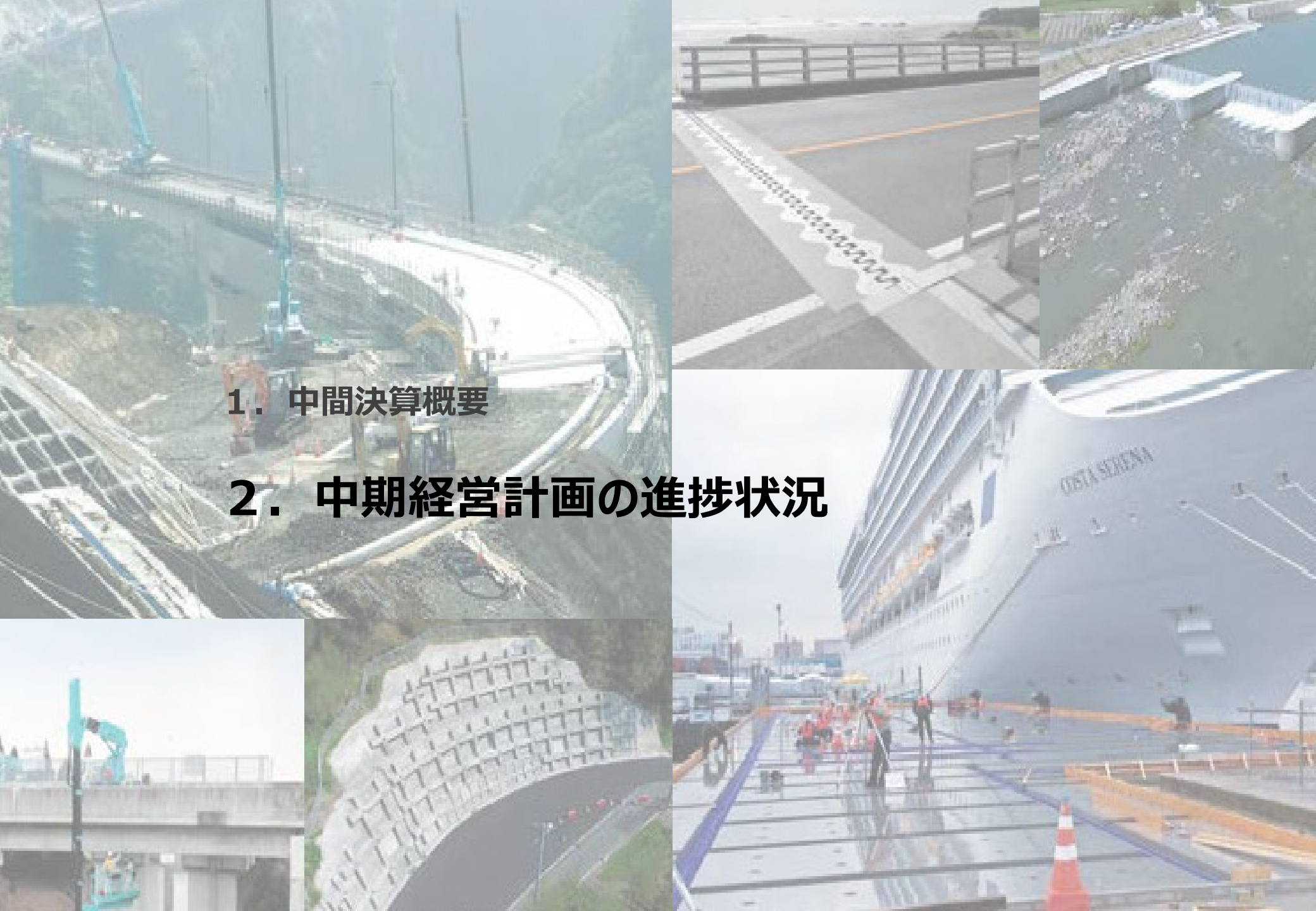
投資CF ▲370

有形固定資産の取得による支出	▲431
その他	＋61

財務CF ▲1,153

配当金の支払額	▲665
有利子負債の返済による支出	▲457
その他	▲30

現預金の増加額 ＋339

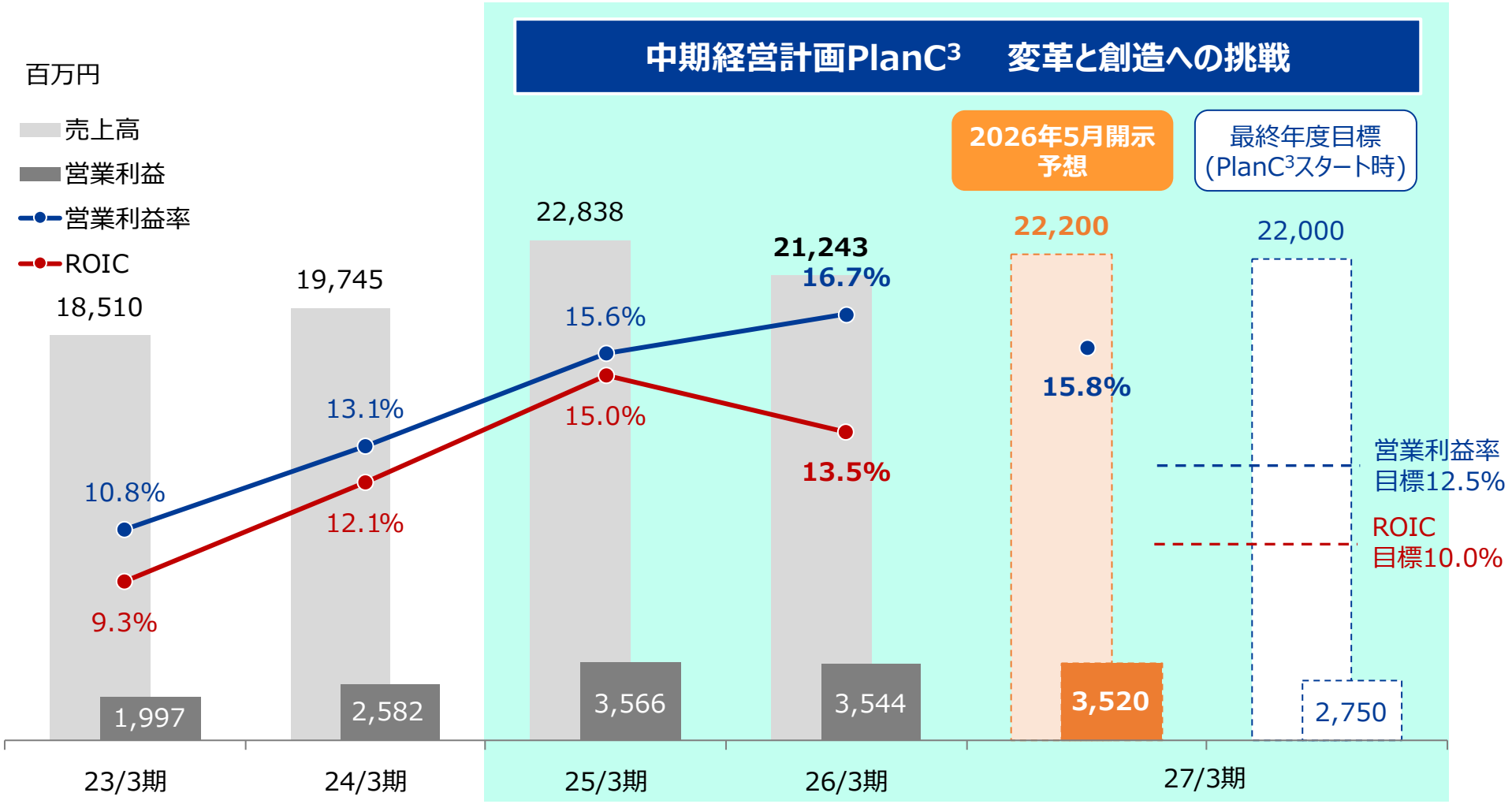


1．中間決算概要

2．中期経営計画の進捗状況

計数計画の進捗状況

➢ 中期経営計画最終年度である2027年3月期は、グループ各社で収益を意識した受注獲得や販売価格への価格転嫁に努め、目標を上回る業績達成を目指して参ります。



VISION 2035 1st Stage／Plan C³の戦略骨子

中期経営計画（25年3月期～27年3月期）
変革と創造への挑戦

取組区分			グループの取組方針
1　変革への挑戦	（１）	人的資本経営の実現に向けた土台作り	• グループ人材基盤の可視化 • 人材成長への投資強化 • 労働市場におけるグループのプレゼンス向上
	（２）	人材不足の時代に合わせた体制転換	• 製造・施工プロセスの機械化・省人化への挑戦 • アナログ的定型業務の効率化推進 • 多様な人材を活かせる環境整備
	（３）	グループ経営推進のための体制強化	• ホールディングスの戦略企画機能強化 • グループ経営会議の更なる活性化
2　創造への挑戦	（１）	既存事業の底固めと更なる強化	• 重点注力分野の深耕
	（２）	新たな成長機会獲得への挑戦	• 新たな成長機会獲得に向けた種蒔き • 戦略的技術開発の推進
3　経営のサステナビリティ		サステナビリティ経営の推進	• サステナビリティ経営基盤の整備と運用 • グループガバナンスの強化とコンプライアンス意識の更なる向上

人材成長への投資強化

博士号取得支援（プレキャスト事業）

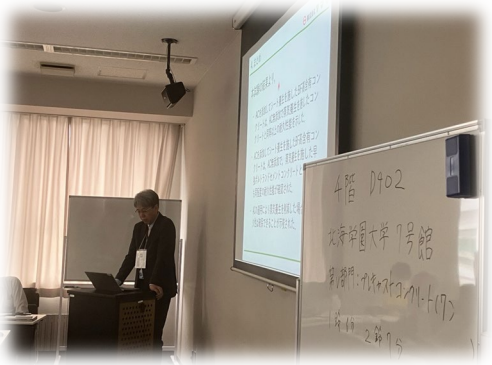
社員の自律的なキャリア形成と専門性の高度化の支援を目的に、博士号の取得支援をはじめ、社員一人ひとりの成長や挑戦を後押しする環境づくりに力をいれております。

引き続き高度専門人材の育成と組織全体のイノベーション創出を推進してまいります。



学術講演会における技術研究の成果発表（プレキャスト事業）

ヤマウ社員4名が土木学会主催の学術講演会にて、コンクリート分野に関する研究成果の発表を行い、専門知見の共有と技術革新に貢献するとともに、研究を行う技術系人材の成長を支える環境の整備を行っております。





土木学会　令和８年度全国大会　第81回年次学術講演会

多様な人材を活かせる環境整備

安全大会の開催（プレキャスト事業、水門・堰事業、地質調査・のり面工事事業、橋梁伸縮装置販売事業他）

労働災害の防止や安全意識の向上へ向けて、各社で安全大会を継続的に開催しています。



ヤマウ



開成工業



大栄開発



中外道路


大分フジ


メック

場内の熱中症発症防止に向けた取り組み（水門・堰事業、橋梁伸縮装置販売事業）





※「スポットバズーカ」は、株式会社イーズの登録商標です。

開成工業と中外道路では、工場内及び配送センター内での熱中症発症防止のため、スポット冷房「スポットバズーカ」を、開成工業に1台、中外道路に4台設置しました。大風量と除湿効果により、現場の体感温度が大幅に低下し「格段に涼しくなった」といった声が上がっており、設置の効果がみられています。

職場環境の改善に向けての取り組みをグループ全体で推進しております。

既存事業の底固めと更なる強化

工業会の推進（プレキャスト事業）

ヤマウは、FA工業会を主宰し、主力製品であるFAボックスの普及・拡大に努めております。





FAボックス　（ヤマウ）

各種表彰の受賞（地質調査・のり面工事事業、水門・堰事業）

グループ各社において、日頃の取り組みと技術力が評価され、各種表彰を受賞しております。


表彰状

有福（55）地区急傾斜地崩壊対策工事

大栄開発 株式会社

様

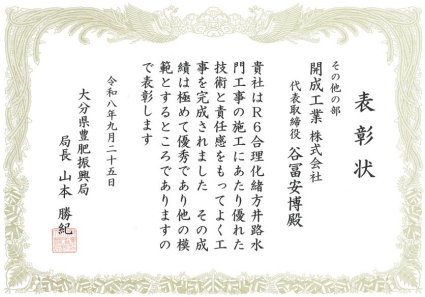
あなたは頭書工事の施工にあたり卓越した技術と優れた施工管理により見事に工事を完成し他の技術者の模範として推奨すべき実績を収められた功績は誠に顕著でありますよってここに表彰します

令和八年七月六日

佐世保市長 宮島大典



佐世保市より受賞：急傾斜地崩壊対策工事（大栄開発）


表彰状

その他の部

開成工業 株式会社

代表取締役 谷富安博殿

貴社はR6合理化緒方井路水門工事の施工にあたり優れた技術と責任感をもってよく工事を完成されました その成績は極めて優秀であり他の模範とするところでありますので表彰します

令和八年九月二十五日

大分県豊肥振興局

局長 山本 勝紀



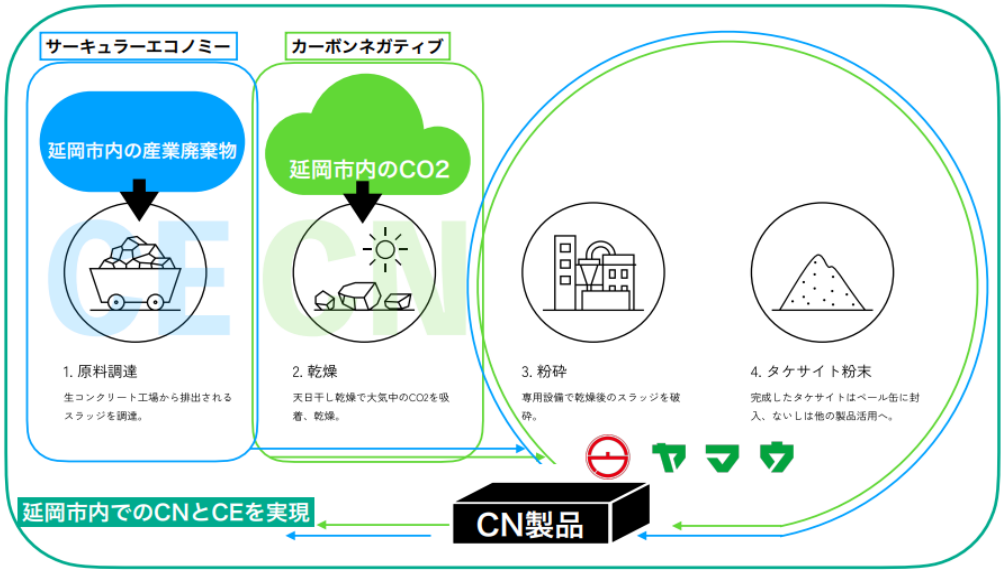
大分県より受賞：スライドゲート2門製作・据付工事（開成工業）

新たな成長機会獲得への挑戦

脱炭素社会の実現へ向け、宮崎県延岡市において、タケ・サイト社と実証実験を実施中（プレキャスト事業）

ヤマウは、宮崎県延岡市及びタケ・サイト社と大気中のCO2を直接捕集する技術を活用した実証実験の連携協定を2025年1月22日に締結し、現在延岡市において、本実証実験を実施しております。

本実験では、生コン工場で発生する産業廃棄物「コンクリートスラッジ」にCO2を吸着させ、再生炭酸カルシウムを生成し、その再生炭酸カルシウムを使用したコンクリート製品の開発・製造・供給に取り組んでおります。



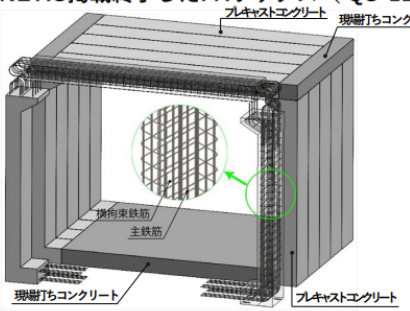
製品の性能向上に対する取り組み（プレキャスト事業）

ヤマウでは、コンクリート製品の性能向上に向けた実証実験を継続的に実施しております。多角的な視点から品質の高度化と改良を重ね、社会基盤の発展に寄与する製品の提供に努めております。

大型ボックスカルバート（耐震性ボックスカルバート）

FAボックス-Rタイプ（SK-250009-A）

NETIS掲載終了したFAボックス（QS-110006-VG）がFAボックス-RタイプとしてNETISに再掲載されました！



NETIS新技術情報提供システムより

経済性	30%向上	ハーフプレキャスト構造を採用し，部材厚のスリム化が可能となり安価となる
工程	4%増加	現場打ちコンクリート工に関連する作業が発生するが他工種と並行作業が可能なため，概ね同程度となる
品質	向上	横拘束鉄筋を配置することでスリム化および耐震性能を向上させた
施工性	向上	スリム化で部材の寸法が小さく軽量化されるため，現場の作業性が向上する

※土被り3.0m 内空幅7.0m×内空高5.0m×10mの大型(多分割)プレキャストボックスカルバートと比較

FAボックスから耐震性能を向上

◎高い耐震性能

横拘束鉄筋を配置し，靭性を考慮した設計法に準拠することで部材のスリム化を実現。また，正負交番載荷実験により十分な耐震性能を確認しました。

◎RPCA審査適合技術

RPCA審査基準に適合しており，安心して選定できる技術です。

グループガバナンスの強化

グループ共通の会議体運営



経営方針発表会、経営会議、戦略会議など、グループ共通の会議体を開催・運営することで、グループが目指す方向性を全社へ浸透、ガバナンスの強化を図っています。

コンプライアンス意識の更なる向上

職場の心理的安全性向上へ向けた取り組み（水門・堰事業）

開成工業では、組織力の強化とオープンな風土醸成を目的に、外部講師を招聘し全社員（144名）を対象とした「心理的安全性向上」を目的として2年間合計5日間にわたり実施いたしました。受講後は研修内容を日常業務や現場での対話に落とし込み、課題の早期発見や積極的な改善提案が生まれる職場環境づくりを進めております。



*心理的安全性：メンバー一人ひとりが対人関係のリスクを恐れず、率直な意見や疑問を安心して発信できる環境・状態

地域社会への貢献

農地活用促進プロジェクトへの参画（プレキャスト事業）

農地の保全と地域活性化を目指す官民共同プロジェクトに参画し、農作業を通した地域とのつながり作りや遊休農地の活用促進に取り組んでいます。





災害復興支援（プレキャスト事業、水門・堰事業）

令和8年熊本地震に際しては、被災地域の迅速な復旧と人々のくらしの再建を願うとともに、支援の一環として義援金を贈呈いたしました。

今後も地域社会に寄り添い、安心・安全な社会の実現に寄与してまいります。





今日を支え、明日を創る。

YAMAU HOLDINGS

本資料に関するお問い合わせ先
ヤマウホールディングス経営管理部
TEL：092-872-3301